

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

〈連載〉東日本大震災被災地 応援情報

NPO法人おにスポの取り組み



キーポイント

- 被災地の方々の「生きがい・やりがい」を取り戻すため、木工加工工房を開設
- 白樺の樹を仮設住宅にお住まいの方が工芸品に加工、販売
- 支援したい側と支援を受けたい側との思いのバランスをとることが大切

1 福島県葛尾村での支援活動

名 称	平成 24 年度「福島県総合支援（地域協働モデル支援事業）受託事業」 仮設住宅における生きがい作り構築支援事業（ふく福プロジェクト）
実 施 期 間	平成 24 年 10 月～現在 ※県委託事業としては平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月
支 援 先	福島県葛尾村
支援対象者	葛尾村仮設住宅にお住まいの方々
内 容	福島県の委託事業を受け、仮設住宅に木工加工工房「 ゆめこうぼうかつらう 夢工房葛桜」を開設、北海道十勝産白樺の樹を、仮設住宅にお住まいの方々がフクロウに加工した工芸品を販売。その収益は復興支援金に充当した。



2 支援活動のきっかけ

「NPO法人おにスポ(以下、クラブ)」(北海道登別市)が支援活動を行うようになったきっかけは、日本体育協会公認クラブマネジャー養成講習会で同期受講生だった「NPO法人半九レインボースポーツクラブ」(宮崎県宮崎市)の澤山さんが東日本大震災直後から被災地支援活動を行い、現地の情報を発信してくださっていたことに始まります。

その澤山さんと一緒に平成24年に福島県葛尾村を訪問した際に「かつらおスポーツクラブ」の中島会長から被災地の状況を伺い、当クラブとして何かできないかと検討する中で、仮設住宅にこもりがちの方々に「生きがい・やりがい」を提供するべきだと考えました。そこで、平成24年度に福島県が公募していた「地域づくり総合支援事業(ふるさと・きずな維持・再生支援事業)」に、仮設住宅に木工加工工房「夢工房葛桜」を開設、被災地の方が工芸品を作り販売することで「生きがい・やりがい」を取り戻すという内容の「ふく福プロジェクト」を提案し、受託しました。

3 ふく福プロジェクト

「ふく福プロジェクト」は、かつらおスポーツクラブの中島会長から希望を受けて事業化したものであり、このプロジェクトと併せて夢工房葛桜で物産展や講演会も開催しました。

しかし、北海道という遠方から福島県内の事業を進めることは予想以上に大変でした。工房開設のために仮設住宅の土地を借りる必要があるなど、知らない土地で知らない方々と関係を持つことは容易ではなく、限られた時間の中で何度も現地に足を運びました。そのおかげもあり、葛尾村教育委員会との連絡・調整など現地で活動していただくコーディネーターを雇うことができ、また全国有数の白樺産地である北海道十勝に所在する「NPO法人幕別札内スポーツクラブ」の協力を得て、白樺の調達・伐採・剪定・梱包・輸送などを行うこともできました。

主な経費

項 目	金 額	備 考
人件費	25 万円	現地コーディネーター、クラブスタッフ現地活動報酬
謝金	10 万円	講師謝金
旅費	20 万円	
需用費	50 万円	消耗品、印刷製本費など
雑役務費	10 万円	
委託費	30 万円	白樺の樹伐採、梱包、輸送費など
工事請負費	100 万円	建築工事
リース費	90 万円	物件の賃貸料

4 プロジェクトの成果

このプロジェクトでは全てが思惑通りに進んだとは言えませんが、仮設住宅にこもりがちだった男性の高齢者が工房に集まるきっかけづくりができました。実際に工房を訪れた男性たちから「男の遊び場だあ」という声が聞かれ、仮設住宅の一步外に出るきっかけづくりになったと感じました。また、子どもたちも「夢工房に集合!」と元気に遊んでいることから仮設住宅の方々にもこの工房が認知されてきたと感じています。

平成25年度は福島県の委託事業を受けることができなかったため、人件費等はボランティア対応となりましたが、各種イベントなどでの募金を活用して事業を継続しています。

支援活動の中で気を付けていることは、支援する側の思いだけで事を進めないことです。支援活動である以上、被災地の方々が喜ぶ活動である必要がありますが、支援する側としてはどうしても自分たちの思いや都合を前面に出しすぎてしまう傾向があり、それがかえって被災地の方々の迷惑となることもあります。支援したいという思いと支援を受ける方々の思いとのバランスを取り、良い関係をつくるのが大事だと思います。

(理事長 磯田 大治)

クラブプロフィール

設立年月日：平成22年2月27日(法人登記:平成25年3月19日)

地 域：北海道登別市全域

運 営：会員数 400名(平成25年3月現在) 予算規模:約2700万円(平成25年度)

特 徴：駅前の空き店舗を活用したクラブハウスが特徴。25年度からは運動施設以外の公共施設の指定管理者となり、市民活動全体を視野に入れた取り組みを行っている。

連 絡 先：〒059-0014 北海道登別市富士町4丁目6番地2

TEL/FAX:0143-81-7444

E-mail: noboribetsusc@yahoo.co.jp

URL: <http://onispo.web.fc2.com/>